
北海道浮魚ニュース

平成 16(2004)年度 7 号 (通巻 No.171)

2004 年 7 月 7 日

北海道立水産試験場

◎道東太平洋マサバ・マイワシ漁期前調査結果

北辰丸(釧路水産試験場調査船)によって行われたマサバ・マイワシ漁期前調査の結果をお知らせします。

調査期間：2004 年 6 月 24 日～7 月 2 日

調査海域および調査点：道東～三陸沖太平洋(北緯 38 度 29 分～42 度 21 分、東経 143 度 31 分～147 度 00 分)における 8 調査点(図 1)

調査方法：9 種類の日合(22,25,29,37,48,55,63,72,82mm)の流し網を用いた漁獲試験

①漁獲試験を行った 8 調査点の表面水温は 12.8～18.4℃(昨年：13.6～18.1℃)、50m 層は 1.9～10.0℃(昨年：1.5～8.9℃)、100m 層水温は 1.5～6.9℃(昨年：1.3～6.4℃)でした(表 1)。

②漁獲試験の結果は表 1 のとおりで、流し網調査 1 回当たりの漁獲尾数(CPUE)の経年変化は図 2 のとおりです。

③漁獲試験で採集された漁獲物は以下のとおりです。

サバ類(マサバ、ゴマサバ)は、漁獲されませんでした。

マイワシは、4 調査点で 1～3 尾、合計 6 尾漁獲されました。CPUE は 0.8 尾/回で、前年の 3.6 尾/回を下回り、近年の中では依然低い水準でした。魚体は体長 15.5～16.5cm 台でした。

カタクチイワシは、7 調査点で 104～1,176 尾、合計 3,242 尾漁獲されました。CPUE は 405.3 尾/回で、前年の 1,450.5 尾/回を下回り、近年の中では低い水準でした。魚体は体長 10.0～14.5cm 台で、12.5 cm 台が主体でした。

サンマは、7 調査点で 1～16 尾、合計 52 尾漁獲されました。CPUE は 6.5 尾/回で、前年の 3.4 尾/回を上回りましたが、近年の中では低い水準でした。

スルメイカは、5 調査点で 1～18 尾、合計 45 尾漁獲されました。CPUE は 5.6 尾/回で、前年の 9.0 尾/回を下回り、近年の中では低い水準でした。

アカイカは、2 調査点で 2 尾漁獲されました。CPUE は 0.3 尾/回で、前年の 0.0 尾/回を上回りましたが、近年の中では低い水準でした。

◎ 来る 7 月 12～17 日に、中央水産研究所資源評価部(横浜市)で長期漁海況予報会議が開催され、今回の調査結果を含めた各機関の資料を基に、漁況予報が発表される予定です。

(文責：釧路水産試験場 資源管理部、TEL:0154-23-6222, FAX: 0154-23-6225)

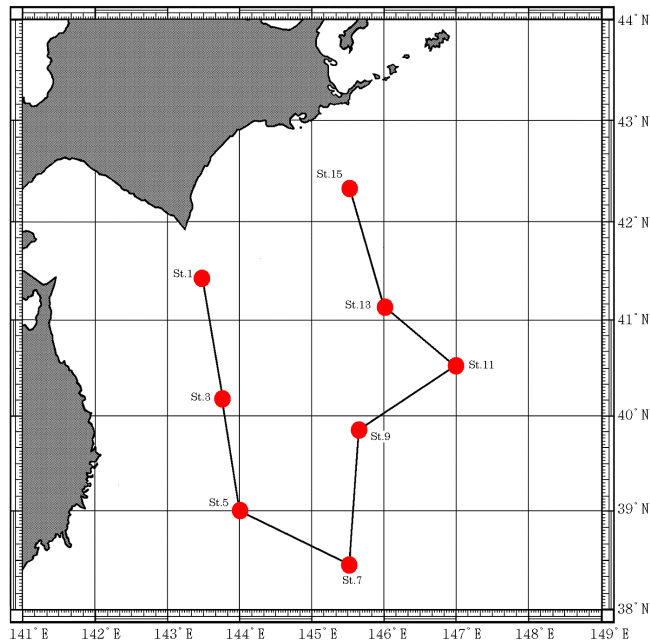


図 1 漁獲試験調査点

表 1 表面水温および魚種別採集尾数

ST	1	3	5	7	9	11	13	15	合計
表面水温	12.8	14.5	14.6	18.4	17.6	13.8	15.1	15.7	
100m 水温	4.9	2.2	2.0	6.9	5.6	1.5	5.4	2.1	
サバ類									0
マイワシ	1		1	3	1				6
カタクチイワシ	239	104	953	317	1,176		264	189	3,242
サンマ		2	3	1	9	16	7	14	52
スルメイカ	14		6	1			18	6	45
アカイカ				1	1				2

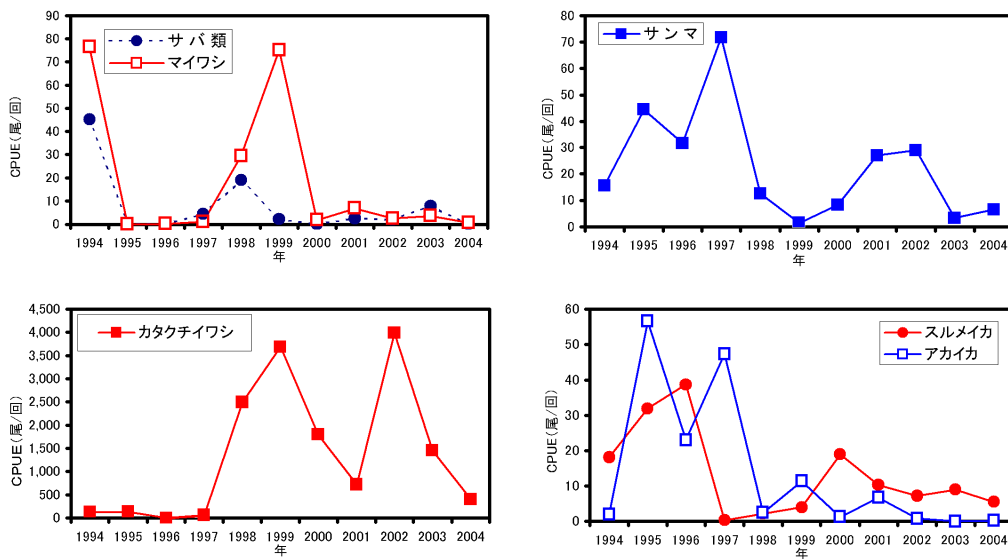


図 2 流し網調査 1 回あたりの漁獲尾数(CPUE)の経年変化